

令和3年度 朝来市立（生野中）学校 学校評価

学校教育目標

夢や志を抱き 自立して 未来を生き抜ける
 ころ豊かな人づくり
 ～「学び」と「行動」と「心」、
 そして「つながり」～

総合的な学校関係者評価

・全校生徒が少ない学校環境において、長所・短所がある中、創意工夫しながら生徒は学び成長し、教職員はその指導・サポートが出来ているように思う。
 ・コロナ禍において、感染防止を行いながらの学校運営のご努力・ご苦勞には頭が下がります。毎年の学校評価において、今後は、全体を底上げするのではなく、最重点取り組みとして項目を絞り、今年度はこの項目はA評価にするという目標を全員で決めて取り組む方法もある。
 ・例年通りの運営であっても、受け取り方が違ってくると大きく影響してくるのではないのでしょうか。何が良くて、何が悪かったと探すのではなく、1つ1つ真意を理解し共有することが、1番の課題ではないのでしょうか。

自己評価 達成状況 (A: 達成している B: 概ね達成している C: あまり達成していない D: 達成していない)

	評価の観点	達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)	
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	B	・学校だよりや学年通信、学校ホームページを通じて積極的に情報発信ができた。また、記者発表も積極的に行い、市の広報や新聞記事に掲載された。いち早くホームページに情報を掲載することで、保護者から喜ばれた。今後も継続していく。 ・オープンスクールは、コロナ禍ではあったが、後半の12月4日(土)に開催することができた。土曜日でもあり、約1年半ぶりの開催とあって、多くの保護者の参観があった。また、ボランティア活動(19【生野】の日)を生徒会が主催で開催することができた。地域住民の参加が増えるような取組につなげていくつもりである。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でのコロナ感染も広がっている中、学校独自の対応マニュアルを作成されるなど、感染防止対策は大変でしょうが気を緩めずに続けてほしい。 ・A評価の特色ある学校づくりについては、さらに「ふるさと教育」に力を入れて計画的に実施してほしい。 ・小規模校の特色を生かし、一人一人に寄り添う指導がもっと必要だと思います。 ・生野の町中には、他の町にはない鉱山遺跡がたくさんあり、歴史学習には好都合だと思います。そればかりでは地域を学ぶことにはならないと思います。農業など後継者不足により休耕地も増えています。中学校でも農業について、学んでほしいと思います。 ・児童生徒の内面理解を図る工夫の達成状況の「B」の評価を改善する努力をお願いします。 ・今年度もコロナの影響があり、また昨年度とは異なり、中止してしまうのではなく、どのようにすれば実施できるのか考えて学校運営がなされ、よくやっていたください。 ・インクルーシブ教育 生徒が理解しその心で行動に移すことができれば人権教育にもつながりますが、先生方の負担も大きくなると思います。地域住民やPTAなど協力できること、しても良いことがあれば申し出て頂ければと思います。 ・生徒会主催で、ボランティア活動が実施できていることは、とてもうれしいことです。地域とのつながりをもって、実施するために区長会や自治協などとも協議することもよいのではないかと思います。 ・「伝統文化の充実事業」は、小学校と連携し9年間の継続した取組は素晴らしいと思います。カリキュラムもよく考えられており、ふるさと生野を知り、また新たな発見するととても良い学習機会だと思います。中学生が小学校へ地域の方と一緒に活動が色々とされているところも良いと思います。生徒の皆さんの変容を見ても、この取組の実りを感じます。
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進	B		
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	B	・生徒会活動を活性化させ、生徒が主体となった活動ができ、生徒の手による組織運営が実施できた。また、全校生で取り組むボランティア活動も実施することができた。教師の指示で行動するのではなく、生徒たちが気づき、生徒たちで解決できる集団に成長させていくことを目指していきたい。	
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	B	・毎週末の振り返りを中心に、日々の生活日記、学期毎の生活アンケートや教育相談などで生徒の内面に触れる機会を設け、担任や学年の職員で生徒理解を深めながら関わっていく。	
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	B	・タブレット等使用に関してのSNSのトラブルを事前に防ぐため、学期に一度は各教科で指導できる場を設けていく。さらに、家庭の協力や理解を得るために、土曜日に教育講演会を親子で共に学ぶスタイルで実施することができた。	
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	B	・コロナが感染拡大する中、学校独自の対応マニュアルを作成することができた。また、それを職員に周知させ、指導の徹底が図れた。	
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	B	・計画的に避難訓練(1.17の集い)、防犯訓練(職員)等が実施することができた。しかし、消防署等との専門機関との連携ができなかったことが、次年度への課題である。	
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	B	・ケース会議を実施できたものの、その結果を受け、改善につなげるという点で大きな成果が見取れなかったことからB判定となってしまった。継続した支援体制づくりのためにも、定期的に研修を重ね、指導力を高め全職員で取り組むたい。 ・今年度、入学説明会資料に本校の特別支援教育の方針を掲載し、保護者に安心感を与えたことは意義深いものがあった。	
安全安心に過ごすことができる学校づくり	新型コロナウイルス感染症対策	B	・コロナが感染拡大する中、学校独自の対応マニュアルを作成することができ、それを職員に周知させ、指導の徹底が図れた。また、学校のホームページにも方針を掲載し、情報提供を行った。		
あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	A	・県指定の「伝統文化継承事業」とからめて、系統的かつ計画的に「ふるさと教育」に取り組むことができた。今年度は、地域人材を活用して「生野踊り」の講習会を開催するなど文化伝承にも努めた。		
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立ち情報活用能力育成を含めた授業改善、授業のUD化の推進	B	・新学習指導要領の全面実施となり、計画的に職員研修会を持つことができ、ねらいとする主体的で対話的な学びについて共通理解が図れた。 ・今後、授業で勝負ができる先生の育成のため、授業力向上を目指した研修を取り組みたい。	
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	B	・道徳教育においては、担任による研究授業を開催し、工夫改善点などを職員全員の共通理解を図ることができた。また、ローテーション授業を実施することで、職員全体の授業力向上を図った。	
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	B	・コロナ禍ではあったが、ほぼ計画通りの実施ができた。その成果を各学年でまとめ文化祭にて個人発表することができた。	
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	B		
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	B	・学校の教育活動全般にかかり、特色ある取り組みの全ての事業のベースになっている視点が、課題教育である。今年度も引き続きコロナ差別が危惧されたが、機会あるごとに全校集会や学年朝会を通して全校生に周知徹底が図れた。 ・体験活動については、期日の変更や内容を縮小することで、臨機応変に開催することができた。小規模校の強みでもある。今後も、想定外の事態となったとしても、できることを模索しながら対応できる校内体制が必要だと考える。	
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	A		
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	B	・今年度、栄養教諭を招聘し、3年生に食育として「希望献立」の授業を実践できた。今後も、アレルギーのある生徒がいるので、連携した食育を推進する。 ・キャリア教育として、本校では多種多様な体験活動や出前授業等、積極的な取り組み行ってきた。今後も更に取り組みを充実させたい。そして、小規模校という利点を活かして、小規模校だからできることを推進し、生徒が将来社会で活躍できる力を身につけさせたい。	
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	B		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と伝統文化の継承と創造する力の育成 ・ICT機器を活用した授業づくり ・行事の精選並びに業務改善の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・2年間県指定である「伝統文化の学びの充実事業」を受け、学校全体で研究に取り組み、生徒のふるさと愛の醸成につながったと感じる。 ・コロナ禍でも、学びを停めずにできることを探り、臨時休校に備えたオンライン授業を2回実施することができた。 ・ペーパーレス会議など具体的な推進はあるものの、勤務時間の短縮には至ることができなかった。さらなる研究が必要である。また、今後は職員の業務内容の比重に差のないよう工夫が必要だと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「ふるさと愛」はとても大事な事だと思うので、形が変わっても「ふるさと愛」が育まれるように取り組んでほしい。 ・各種コンクールなど、生徒作品の展覧・応募が少ないように思います。 ・様々な業種で働き方改革が進められています。教職員の皆さんの改革を進めていただくための工夫を外部からの意見や協力を得ながら取り組んでいただきたい。 	